

平成 18 年 8 月 10 日

第 17 期 第 1 四半期報告書

(平成 18 年 4 月 1 日から平成 18 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社テクノシステムズ
英文名(英文商号) Techno Systems Co.,Ltd.
コード番号 2456
代表者の役職氏名 代表取締役 林 正幸
本店の所在の場所 神奈川県大和市下鶴間 3854 番地 1
電話番号 046-278-3650
連絡者 取締役 谷口 光

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 17 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 6 月 30 日	自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 6 月 30 日	自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 17 年 6 月 30 日
I 売 上 高		158,818	158,818	128,936
II 売 上 原 価		128,974	128,974	103,481
売上総利益		29,843	29,843	25,454
III 販売費及び一般管理費		28,440	28,440	18,730
営業利益		1,403	1,403	6,725
IV 営業外収益		38	38	9
V 営業外費用		1,084	1,084	939
経常利益		356	356	5,795
VI 特別利益		70	70	-
VII 特別損失		-	-	-
税引前四半期(当期)純利益		426	426	5,795
法人税、住民税及び事業税		50	50	468
四半期(当期)純利益		376	376	5,327
前四半期(前期)繰越損失				36,988
四半期(当期)未処理損失				31,661

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 17 期 第 1 四半期	当期累計	前年同期累計
		自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 6 月 30 日	自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 6 月 30 日	自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 17 年 6 月 30 日
期中平均株式数		7,150 株	7,150 株	6,550 株
1 株当たり四半期(当期)純利益		52 円 64 銭	52 円 64 銭	813 円 35 銭
潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益		—	—	—

※潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は、期中平均株価の算定が困難であるため記載して
おりません。

※前年同期累計については、株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

テクノシステムズ

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類	期 別 第 17 期 第 1 四半期 自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 17 年 6 月 30 日
テクニカルスタッフ派遣事業	46,065	46,065	89,784
受託開発事業	109,190	109,190	38,372
自社ブランド製品事業	867	867	780
モバイル広告事業	2,696	2,696	—
合 計	158,818	158,818	128,936

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	
	第 16 期末 (平成 18 年 3 月 31 日現在)	第 17 期 第 1 四半期 (平成 18 年 6 月 30 日現在)
(資 産 の 部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	40,807	49,416
2. 営業未収入金	97,585	96,635
3. 前払費用	3,818	8,465
4. その他	278	2,040
貸倒引当金	△590	△580
流動資産合計	141,900	155,978
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	69,011	68,294
(2) 車両運搬具	797	710
(3) 工具器具備品	484	1,069
(4) 土地	137,471	137,471
有形固定資産合計	207,764	207,544
2. 無形固定資産		
(1) ソフトウェア	4,309	3,513
(2) その他	292	292
無形固定資産合計	4,601	3,806
3. 投資その他資産		
(1) 出資金	5,376	21,062
(2) 長期貸付金	8,530	8,470
(3) 長期前払費用	11,157	11,101
(4) 保険積立金	8,460	8,742
(5) 長期預け金	15,777	636
(6) その他	2,475	2,485
貸倒引当金	△7,330	△7,270
投資その他資産合計	44,446	45,226
固定資産合計	256,812	256,577
資 産 合 計	398,712	412,555

(単位：千円)

期 別 科 目	第 16 期末 (平成 18 年 3 月 31 日現在)	第 17 期 第 1 四半期 (平成 18 年 6 月 30 日現在)
(負 債 の 部)		
I 流動負債		
1. 営業未払金	13,852	15,961
2. 短期借入金	34,998	37,903
3. 1年以内返済予定 長期借入金	49,688	51,992
4. 未払金	12,472	12,167
5. 未払費用	14,115	23,442
6. 未払法人税等	200	50
7. 未払消費税等	6,391	5,358
8. 預り金	1,821	4,322
9. 賞与引当金	11,200	7,500
流動負債合計	144,740	158,697
II 固定負債		
1. 長期借入金	88,003	90,407
2. 長期未払金	96,441	93,546
固定負債合計	184,444	183,953
負債合計	329,184	342,651
(資 本 の 部)		
I 資本金	80,500	—
II 資本剰余金		
資本準備金	15,000	—
III 利益剰余金		
利益準備金	594	—
当期末処理損失	26,566	—
利益剰余金合計	△25,972	—
資本合計	69,527	—
負債・資本合計	398,712	—
(純資産の部)		
I 株主資本		
1 資本金		80,500
2 資本剰余金		
(1)資本準備金		15,000
3 利益剰余金		
(1)利益準備金		594
(2)その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		△26,190
純資産合計		69,904
負債純資産合計		412,555

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 16 期 末	第 17 期
		(平成 18 年 3 月 31 日現在)	第 1 四 半 期 (平成 18 年 6 月 30 日現在)
発 行 済 株 式 総 数		7,150 株	7,150 株
1 株 当 たり 純 資 産 額		9,724 円 17 銭	9,776 円 81 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本				株主資本 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金		
			利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	
平成 18 年 3 月 31 日残高	80,500	15,000	594	△26,566	69,527
第 1 四 半 期 中 の 変 動 額					
四 半 期 純 利 益	—	—	—	376	376
第 1 四 半 期 中 の 変 動 額 合 計	—	—	—	376	376
平成 18 年 6 月 30 日残高	80,500	15,000	594	△26,190	69,904

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第 5 経理の状況 重要な会計方針」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 消費税等の処理方法	仮払消費税等と仮受消費税等を相殺し、未払消費税等として表示しております。
--------------	--------------------------------------

なお、当該四半期の貸借対照表及び損益計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

1. 貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準

当第 1 四半期から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第 5 号平成 17 年 12 月 9 日）および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第 8 号 平成 17 年 12 月 9 日）を適用しております。

従来の資本の部の合計に相当する金額は 69,904 千円であります。

なお、会社計算規則の改正により、当第 1 四半期における貸借対照表の純資産の部については、改正後の会社計算規則により作成しております。

II 第17期 第1四半期（平成18年4月1日から平成18年6月30日）の業績の概況

今年度初めは、顧客計画の変更などにより新人社員の作業確保が遅れ、売上への寄与が遅れました。テクニカルスタッフ事業については、社員が主体的に作業を行える受託開発事業へのシフトを積極的に実施してきた結果、顧客側のご要望とも一致し防衛関係の開発請負を追加受注するなど受託開発事業が順調に増加しております。当四半期は前年同期に比べグリーンシート銘柄としての維持費用及び開発費が生じていますが、先期末（平成18年2月）から開始したモバイル広告事業が売上及び利益に貢献し始めました。

この結果、当四半期につきましては、売上高158,818千円（前年同期比23.2%増）、営業利益1,403千円（前年同期比79.1%減）、経常利益356千円（前年同期比93.8%減）、四半期利益376千円（前年同期比92.9%減）となりました。

III 第17期通期の売上高及び利益の予測について （単位：千円）

科 目	期 別	第16期（実績）	第17期（予想）
		〔自 平成17年4月1日〕 〔至 平成18年3月31日〕	〔自 平成18年4月1日〕 〔至 平成19年3月31日〕
売 上 高		522,150	701,200
営 業 利 益		22,849	48,300
経 常 利 益		8,840	37,500
当 期 純 利 益		10,422	30,100

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第17期 第1四半期
		自平成18年4月1日 至平成18年6月30日
現金及び預金の増減額		8,608
現金及び預金の四半期首残高		40,807
現金及び預金の四半期末残高		49,416

(主な増減理由)

運転資金の借入れによる新規借入金による増加であります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第17期 第1四半期
		自平成18年4月1日 至平成18年6月30日
短期借入金の増減額		2,905
短期借入金の四半期首残高		34,998
短期借入金の四半期末残高		37,903

(主な増減理由)

運転資金の借入れによる新規借入金による増加であります。

(3) 長期借入金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第17期 第1四半期
		自平成18年4月1日 至平成18年6月30日
長期借入金の増減額		4,708
長期借入金の四半期首残高		137,691
長期借入金の四半期末残高		142,399

(主な増減理由)

運転資金の借入れによる新規借入金による増加であります。

(注) 長期借入金には1年以内返済予定長期借入金も含んでおります。

V その他

(1) 平成18年4月7日開催の取締役会において、第15回定時株主総会で承認されました「特定の者に対してストックオプション目的の新株予約権を無償で発行する件」について、具体的な発行内容を下記のとおり決議いたしました。

①新株予約権の発行日	平成18年4月7日
②新株予約権の発行数	600個 (各新株予約権1個当たりの株式数1株)
③新株予約権の発行価額	無償
④新株予約権の目的たる株式の種類及び数	当社普通株式600株
⑤新株予約権の行使に際しての払込金額	1株につき50,000円
⑥新株予約権の行使により発行する株式 の発行価額の総額	30,000,000円
⑦新株予約権の行使期間	平成19年7月2日から平成27年6月30日
⑧新株予約権の行使により新株を発行する 場合の発行価額のうち資本に組入れない額	15,000,000円
⑨新株予約権の割当対象者数	取締役5名、監査役1名及び従業員26名

(2) 平成18年7月10日開催の取締役会の決議に基づき、第三者割当による新株式発行を行いました。

①発行新株式数	普通株式196株
②割当価額	1株につき51,000円
③発行価額	1株につき46,000円
④発行価額の総額	9,016,000円
⑤資本組入額	1株につき23,000円
⑥資本組入額の総額	4,508,000円
⑦申込期日	平成18年7月31日
⑧払込期日	平成18年7月31日
⑨割当先及び割当株式数	湘南新産業創出基金第一号投資事業有限責任組合196株
⑩調達資金の使途	概ね計画通り進行中です。